

天理大学人文学部 国文学国語学科

Department of Japanese Language and Literature



特長
1

少人数教育

1学年40名の学生に対して、6名の専任教員が指導にあたっていますから、履修者ひとりひとりの個性を尊重した授業ができます。とくに、基礎演習科目と演習科目はほとんどのクラスが十数名程度、卒業論文演習は数名程度の規模で行われています。

特長
2

多彩な授業内容

国文学分野では、上代（奈良時代以前）から現代までのあらゆる時代をテーマとした授業が開講されていますから、学生のみなさんのどんな関心・興味にも応えることができます。国語学分野でも、文法・語彙・表現（文体）など、さまざまなテーマの講義が用意されています。

特長
3

段階を踏んだ指導

1年次における概論科目や基礎演習科目で基礎的な知識を身につける段階から、4年次において卒業論文演習を通じて卒業論文を書き上げる段階まで、きめ細かな、順を追った科目履修によって、ひとりひとりの能力と資質を確実に育てます。

特長
4

豊富な資料と環境

多くの国宝や重要文化財を含む 200万冊の蔵書を誇る〈天理図書館〉の資料を駆使して、実証的で堅実な研究方法を学ぶことができます。古代の息吹きを今に伝える歴史的文化的環境に恵まれているのも大きな魅力です。

天大国文の4つの特長



POINT
解説

高校までの「国語」と大学の「国文学」や「国語学」との違い

高等学校までの「国語」という教科には、日本の言語に関することがらと日本の文学作品に関することがらとが、両方含まれています。「国語学」はそのうちの言語に関する学問分野にあたり、「国文学」は文学作品に関する分野にあたります。2つの分野を設けて、それぞれ専門的に深く学んでゆきます。

ただし、一方を深く学ぼうとすると、もう一方の素養がどうしても必要になってきます。たとえば、『源氏物語』を文学作品として深く読み作品の真実に迫るためには、どうしても、その時代の言語（文法・語彙・文体等）についての知識がなくてはなりません。ですから、私たちの学科では、必ず、国文学と国語学のそれぞれの分野の授業を受けることになっています。

卒業論文の主なテーマ

人麻呂歌集七夕歌の研究
山上憶良研究―「貧窮問答歌」について―
『源氏物語』における音楽
『枕草子』の研究
平安朝文学における女房の研究
百人一首考
源義経の北国落ちについて
中世妖怪考

『今昔物語集』における笑いについて
『一寸法師』について
『好色五人女』論―恋物語における死について―
上田秋成『雨月物語』論―韻文とその役割―
『菅原伝授手習鑑』の研究
近世期の俳人と正岡子規―芭蕉と蕪村と子規―
宮沢賢治『銀河鉄道の夜』
芥川龍之介『河童』論

村上春樹『海辺のカフカ』論
ライトノベル論
マンガの言語表現について
キャッチコピーについて
新聞の見出しについて
大喜利におけるボケの分類
オノマトペについて
奈良県方言の研究

カリキュラム

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
	国文学と国語学、 双方の基礎を学ぶ	多様な専門分野の学びを 理解する	作品の原文読解、テーマの解釈 などをつづじて専門分野の学び を深める	ことばをあつかう専門家として 卒業論文の精度を高める
専 攻 科 目	国文学基礎演習 国文学概論 国語学基礎演習 国語学概論 漢文学基礎演習	文学特論 （上代・中古・中世・近世・近代） 国語学特論 （構造・運用・実態） 漢文学特論 書 道	国文学演習 （上代・中古・中世・近世・近代） 国語学演習 （構造・運用・実態） 音声言語 文章表現 国語科指導法	卒業論文演習 卒業論文
	文学講読（上代・中古・中世・近世・近代）		古典文学史／近代文学史／国語史／実用国語表現／天理図書館資料論	
			大和の地域文化論（文学・言語）	

授業内容紹介

国文学基礎演習

国文学の研究に必要な基礎知識を身につける授業です。くずし字で書かれた古典作品を読んだり、江戸時代の和書を手にとって観察したり。基礎力を養うことで、新たな文学の魅力が垣間みえてきます。

国語学概論

発音・アクセントや文体、あるいは方言といった分野まで、普段の生活では気づかない日本語の特徴を紹介しながら、日本語研究の初歩について解説します。



近代文学特論

近現代文学を読むなかで度々出会う事象や気になる事項を取り上げながら、テキストの精読を行います。趣味の読書では気づかない文学の多様性や奥深さに触れることを目指します。

国語学演習

日本語の中にある仕組みを調べます。例えば、「決して」と「絶対」はどう違うのかということを調べたり、外国人の作文にあった「私の高校生の時はおもしろいでした」という文がなぜ不自然に感じられるのかを考えたりします。

上代文学講読

七世紀後半の宮廷で活躍した遊宴の花とも称される額田王、やはり七世紀末から八世紀にかけての宮廷歌人で歌聖とも称される柿本人麻呂たちの多彩な作品世界を読み解きます。

国文学 5つの時代

上代…『万葉集』『古事記』など
中古…『伊勢物語』『源氏物語』など
中世…『今昔物語集』『十訓抄』など
近世…井原西鶴、上田秋成など
近代…夏目漱石、芥川龍之介など

文章表現

様々な種類の文章の書き方を習得する授業です。書き言葉・敬語等について学習し、グループでディスカッションしながら、紹介文・解説文・メール文書等の書き方について、受講生皆で学びます。

国語科指導法

教員として生徒を指導するために重要となる「現代の文学作品」「説明的文章」「古典文学」「IT を使った授業」の4つを実施しています。それぞれ数回の模擬授業を実施しており、指導時の注意点や工夫を体感します。

資格課程・プログラム

- 教職課程（中学校・高等学校教諭一種「国語」）
- 小学校教諭一種免許状取得プログラム（他校との協定）
- 図書館司書課程
- 博物館学芸員課程
- 日本語教員養成課程
- 伝道課程
- 矯正・保護支援課程

スキルアップ支援講座

- 教員採用試験対策講座
- 公務員講座
- 総合旅行業務取扱管理者講座
- 通関士講座
- 情報処理講座
- 秘書技能検定試験対策講座
- 就職対策集中講座



教員紹介

大谷 歩 講師

おおたに・あゆみ

飛鳥・奈良時代の詩歌や伝説について、中国の文献と比較しながら研究しています。特に、万葉集は人びとの喜怒哀楽やユーモアがつまっている、魅力的な作品です。古代の人びとの言葉と心をとおして、日本文化の源流を探求しましょう。



上代文学

原 豊二 教授

はら・とよじ

平安時代に花開いた仮名文字による文学作品は、大きな潮流となり、後の世に伝わりました。源氏物語が特に知られていますが、他にも個性的な作品がたくさんあります。時代をさかのぼって、その息づかいに触れてみましょう。



中古文学

西野由紀 教授

にし の・ゆき

江戸時代の作品を構成する要素は、ことばだけではありません。たとえば、井原西鶴は自身で挿絵を描いた作品を残しています。ことばの表現だけでなく、さまざまな要素にも目をくばりつつ、解釈の可能性を探ってみましょう。



近世文学

蜂矢真弓 准教授

はちや・まゆみ

サカナは「サカ+ナ」で、サカは酒、ナは菜（おかず）を意味します。つまり、本来は「酒のつまみ」の意味であり、そこから転じて fish のことを意味するようになりました。このような古代日本語の歴史を共に考察してみませんか。



国語学

鳥谷善史 教授

とりたに・よしふみ

大阪出身の私は「見ない」を「ミーヒン」といいます。でも、若い世代では「ミヤン」といいます。なぜ、どのような理由で、このような変化が起こるのかを言語調査や先行研究をとおして科学的に一緒に探ってみませんか。



国語学

社会で活躍する卒業生からのメッセージ



人は成長したいと思えばいつでも成長できる

おかもと か な こ
岡本圭那子 ●2005年卒業
奈良県立橿原高等学校 教諭

教師になった当初は不安や戸惑いも多く、がむしゃらに日々を過ごしていました。でも私が言った一言が心に残っている、救われた気持ちになったと言ってくれる生徒がでてきて、心から伝えようと思えば伝わるのだと実感しました。教員をしていて決して嬉しいことや楽しいことばかりではありませんが、日々成長していく生徒とともに自分も成長できるのがこの仕事の魅力だと思います。正直申しますと、私はもともとこのようなところで偉そうにコメントするほど、勉学に励んでいたわけではありません。むしろ

勉強が苦手で、何となくやり過ごしていたように思います。ですが大学に入り、古典のおもしろさを知りました。天理大学で学んだことで、苦手だったものが好きになり、今の仕事に繋がっています。担当の先生も私たちに親しく接してくださり、研究室で友達や先生と一緒に昼食を食べていたことは本当に良い思い出です。私は学科会活動にも積極的に参加していました。この活動を通して、たくさんの人と出会い、社会に出てから役立つことをたくさん学びました。大学に進んだからには、勉学に励むのは当然ですが、それ以外の活動にもぜひ参加してみてください。人は成長したいと思えばいつでも成長できます。そのチャンスも自分の心次第でたくさん巡ってきます。私は社会に出て、今、そのことを強く実感しています。



人のつながりこそが財産

ふくやまよしのぶ
福山好伸 ●2009年卒業
紀北町町民センター図書室 司書

現在、図書館司書として、図書の購入や整理、資料の管理などの仕事をしています。昔から本を読むことが好きだったので、本に携わる仕事に就けたらいいなと思っていました。町民の方に「こういった本があります」「この本はどうでしょう」とご提案をすることも多く、そういう時に「この本、良かったよ」「この作家さん好きになりました」と言っていたくれるのはとてもうれしく、この仕事の魅力であると感じています。大学4年間は、文章に目を通すということを徹底してやりました。正直それほど楽しいとは言えない（好きではない）分野の本

や論文もたくさん読みました。授業に必要な資料を探す時は大変でしたが、そんな時にはよく先輩や先生から「こういった本（検索手段）がある」と教えてもらいました。ある意味、それは今の仕事で私が従事していることと同じであり、自分の司書としての仕事の原点であると思っています。天理大学は学生と先生の距離がとても近い大学です。授業のことなどまじめな話からちょっとした世間話まで、それこそ夕飯の時にでも先生方といろいろなお話ができました。先生方だけではなく先輩とも後輩ともどんどん繋がっていきました。人のつながりこそが大学生活を最も豊かにしてくれる財産だと思います。ぜひ一度声をかけてみてください。きっと誰かがすくい上げてくれますよ。さしあたって学科会室や国文共同研究室がオススメです。



論理的思考を武器に

ふじ き え り こ
藤木恵理子 ●2013年卒業
漫画家

卒業後IT企業で3年ほど仕事してから、漫画家として独立しました。会社員時代は、Web広告の運用が主な業務で、効果改善やクライアントへの提案、レポーティングを行いました。広告の仕事というデザイン系を思い浮かべる方が多いですが、Web広告は全く違って毎日数字との戦いです。理系のほうが向いているのではないかという内容でした。天理大学の国文学科卒なのになぜこの仕事できたのかというと、私が数字に強かったなどということはなく、他ならぬ天理大学で学んだことが活きたからです。大学の文学は高校までの国語とは全く違います。物語の中に疑問を見出し、その原因と答えを物語の中と外から広い視野で論理的に解き明かします。ゼミも少人数であったからこそ、一人ひとりの考える

力が磨かれました。「疑問を見出す力」「論理的に考え、証明する力」この二つが、広告の仕事をする上で非常に重要な役割を果たしたのです。その後、夢だった漫画家としてデビューするときにも、大学で学んだ論理的思考に助けられました。話を組み立てることは、その辻褄を合わせ、セリフの一つ一つに関連性を見出して過去と未来を繋げていく必要があります。連載となると、一つの話から、作品全体に至るまで、広い視野で考えなければなりません。まだまだ私も勉強が必要ですが、ここまでやってこられたのは、今まで学んできた論理的思考のおかげだと思います。すべての経験は無駄ではありません。自分で無駄だと決めつけてしまうと、それに費やした時間と自分を否定することになります。まず何かに意味を見出してしっかり吸収すること。「文学部なんて就職に困るでしょ」なんて思う人は特に、無駄にしないという考え方を忘れずにいてください。何を自分の糧とするかは、いくらでも自分で決めることができますよ。

©揚止しの
幻冬舎コミックス



卒業式にインタビュー

なぜ大学院に進学しようと思ったの？
とにかく好奇心があったから、というのが大きいです。卒業論文では松尾芭蕉を取りあげたんですけど、いろいろと調べていくうちに、芭蕉のことを全然わかってないなと。そもそも江戸時代についてもそれほど深く知らないぞ、と。だから、もっと学びたいということで、進学することになりました。
どうして松尾芭蕉を取りあげようと思ったの？
1年次生の国文学基礎演習の授業のなかで、各時代のいろいろな古典作品をとりあげてレポートを作成するという課題がありました。そのなかに『おくの細道』があって、作品名は知っているのに、内容については何も知らないことに気づいたんです。実際に読んで、結局、これは何のために書かれたんだろうと疑問に感じました。それをきっかけに、芭蕉作品のおもしろさに惹かれていきました。
教員免許も取得したよね。
国文学国語学科で教員免許を取得できるのは魅力ですが、自分が知らないことを知りたいという気持ちと、知らないことがある自分が人に教えるということに、折り合いをつけるのは難しいと感じたんです。

教員になると、たぶん研究は続けられないだろうと。
どうして京都大学大学院を選んだの？
大学院では松尾芭蕉について研究したい。だから、どんな研究があるのか、いろいろな論文を読んだんです。そのなかに、おもしろいと感じる論文をみつけました。それを書いた先生のもとで学びたいということで、京都大学大学院を選びました。
大学院をめざす後輩にアドバイスはある？
過去問集を入手して対策するのは大前提ですが、いちばん必要なのは精神力だと思います。大学院入試の面接では卒業論文をもとにいろいろと質問されるのですが、かなり辛辣な批評をうけるんです。卒業論文の試問の前だったので、本当にわたしは卒業できるんだろうかって不安になるくらい。ちょっと泣きそうになるんですけど、とにかく笑顔で受け答えしました。ただ、面接の最後になって、先生方から「天理大学、いいなぁ」「図書館の蔵書数は素晴らしいし、うらやましい研究環境だね」って声をかけられました。
天理図書館の「偉大さ」に助けられた、と。
そうです。あらためて、恵まれた環境で学んでいることを実感しました。

京都大学大学院修士課程に進学
自分の好奇心に忠実に
松尾芭蕉の研究を続けたい

鳥居亜水
2021年卒業



受験生へのメッセージ
天理大学の魅力は、たとえば、大学院入試で他大学の先生からお褒めのことをかけられるような環境が整っているところにあります。みなさんも、自分の好奇心を満たすことのできる環境で学んでみませんか。

天理高等学校に就職
「夢」を実現するため
友との切磋琢磨と「負けん気」
森下 心
2024年卒業



なぜ教員になりたいと思ったの？
小学校のころ、生徒たちのために働いておられる先生たちの姿に魅力を感じたからです。
具体的にどんなことがあったの？
たとえば生徒が学校を休んだとき、先生は一人ひとりの家へ行って、生徒のようすを聞いて、何かと気にかけてくださって。自分が学校を休んだときもそうで、生徒への気づかいができて、授業もわかりやすくて。自分もそうなりたと思いました。
教員になるためにはまず採用試験の対策が必要だけど、何か工夫したことはある？
時間の使い方を工夫しました。自分の場合、通学時間が片道1時間。1日2時間、何もせずに過ごすのはもったいないと、対策の時間に充てました。3年次の後半からはこのままのペースでは間に合わないと思って、大学の休憩時間もずっと勉強しました。
たしかに、ずっと共同研究室にいて勉強してたよね。
共同研究室へ行けば、おなじ目的をもった友人もいたので。共同研究室が開いていない土日は一緒に図書館へ行って、とにかく仲間切磋琢磨しました。
これは役に立ったという授業ってある？
教職課程の授業で、ICTにかんすることがしっか

受験生へのメッセージ
自分の夢を叶えるためには何が必要なのかを考え、周りの友人たちよりも努力することが大切です。友人たちと助け合いながら夢に向かって進んでいくのもよいですが、お互いに刺激をうけながら「負けん気」をもって取り組むことも大事です。

り学べたのは大きいですね。教育実習先でも国語科の授業は他の教科に比べるとあまり進んでいなかった。どのように活用したらよいのか、そもそもICT化を進めるべきなのかどうか、自分でじっくり考えることができました。
大学生生活を送るうえで、大切なことは？
自分の目標は何か、何を学びたいのかを明確にしたうえで、授業に臨むことです。大学生になると目の前の楽しさに負けて、墮落するイメージってあるじゃないですか。そんな人と、4年間を一生懸命に努力した人とは、おなじ大学で学んでも身につけたスキルってまったく違うと思うんです。だから、目的意識をしっかり持つことが大切です。
教員になったら、やってみたいことは？
生徒の夢を実現するため、そばで応援すること。一生にいちどしかない高校生活で、勉強やクラブ活動に励み、そのなかで自分の夢を見つける。その見つけた夢に向かって走っていく後押しができればいいと思います。もちろん、できれば「教師になってほしい」「国文に進学してほしい」という気持ちもありますが（笑）。

なぜ司書になりたいと思ったの？
小学生のころ、「お話しの会」というのがあって、司書の方がいろいろな本を紹介されるんです。紹介された本を実際に読んでみたんですが、とてもおもしろくて。それがきっかけで本が好きになりました。わたしと本とを結びつけてくれたのは司書の方のおかげ。わたしも司書になって、子どもたちに本の面白さを伝えたいと思うようになりました。
司書試験の対策はいつごろからはじめたの？
司書の募集があるかどうかは、4年次にならなければわかりません。あるとわかってから動いては遅いので、2年次の2月から一般企業と併願する方向でSPIや公務員中級試験の対策をはじめました。ふりかえってみると、もうすこし早く始めたほうがよかったと思います。
その後、具体的には何をしたの？
3年次の夏からは、エントリーシートを書いて、企業のインターンシップに参加するのと並行して、自治体の説明会に積極的に参加しました。企業のことや自治体のことを知ることができ、その後の面接で役立ちました。
4年次にどれくらい司書の募集があったの？
年によっては採用がないこともあります。ラッキーな

受験生へのメッセージ
司書になるのは「狭き門」ですが、最初からあきらめるのではなく、どんどん挑戦してみてください。また、就職活動は一人で進めず、かならず誰かに相談するべきです。天理大学のキャリア支援課では親身になってサポートしてもらえるので安心です。

京都トヨペット株式会社に就職
プラスの思考で前向きに
大好きな仕事にする

井上裕貴
2024年卒業



なぜ「自動車販売」だったの？
クルマが大好きだから、ですね。それから、とにかく人とかかわる仕事がしたいということで、お客様の話を聞いて、そのなかで最適な提案をし、満足して帰っていただく。カーディーラーの営業職は自分にピッタリな仕事だと感じています。
研究室では、いつも場を盛りあげてくれたよね。
入学した途端に、コロナ禍になって。でもそれがきっかけで、人と人との繋がりが大切だと気づけました。とくに天理大学は、日本全国からいろんな目的をもった学生がたくさん集まってくるじゃないですか。みんなと話すことで、自分の幅が広がったと思います。
就活を頑張ってたけど、苦労したことは？
教育実習と就活とが被ってしまったことですね。教育実習のために、企業へ連絡して最終面接の日をずらしてもらって、でもずらしてもらった日が教育実習が終わった次の日だったりして。
ものすごくたいへんだったんじゃない？
教育実習中は授業準備もあって忙しいし、そもそも就活対策を並行してやるのは自分の能力的にできなかった。実習が終わってすぐ、急いで面接の準備をしたのを鮮明に覚えてます。

受験生へのメッセージ
実現したい夢をメモするなどして目に見えるかたちで残すこと。大きな夢の実現に繋げるために、小さな段階をいくつも繋げていけば、大きく成長できます。とにかく、「自分の周りで起こることは、自分にとってすべてプラス」という考えで、前向きに！

ことに、いくつかの自治体で募集があったので、複数チャレンジすることができました。本気で司書をめざすなら、就職先は全国規模で考えることが重要です。
現役で司書の採用試験に合格するコツは？
早めの準備は当然ですが、相手のことを知ることが大切です。面接試験では決まって、図書館に行ったことがあるかどうか、そのうえで感想や改善点を質問されました。面接前までに現地に行き、感想をメモしてまとめていたのが役立ちました。また、その図書館がある自治体の情報を把握し、自分が司書として地域にどのように貢献できるかも事前に考えておきました。
どんな司書になりたいか、理想の司書像はある？
子どもたちに本の面白さを伝えたいというのが司書になりたいきっかけでした。それもあって、ヤングアダルトサービス（中学・高等学校世代向けのサービス）に携わりたいと思っています。本が好きな人が増えれば、活字離れも解決できるんじゃないかなと。また、司書は、人と本とをつなぐだけでなく、人と人をつなぐ役割も果たしているはず。これまでいろいろな人に支えられて司書になる夢を叶えました。今度は自分が地域の人たちを支え、貢献したいですね。

図書館司書に現役合格
図書館で働くのは大学入学前からの夢
地域に貢献できる司書をめざす
黒住涼香
2023年卒業





——**共同研究室**ってふだん、どんなふうに使ってるの？

山下優一郎（4年） やっぱり演習の授業（3年次の選択必修科目）で使うことが多いですね。

森下心（4年） そうそう、いろんな種類の辞書・辞典や注釈書なんかがすぐ隣の書庫にあるので、ここに来ないと発表資料を作ることができない。

——3年次生はどう？

新熊彩夏（3年） 天理大学には**附属天理図書館**とか**情報ライブラリー**とか、いろいろあるんですけど、共同研究書の書庫はそれぞれの先生の専門分野にわけて本が置いてあるので、使いやすい。

西口敬作（3年） 僕は近代文学の演習を受講してるんですけど、夏目漱石なら漱石の、江戸川乱歩なら乱歩の資料が揃ってるんで、作品の読み方だけでなく、それを生み出した時代背景なんかもす

ぐに調べられるのが魅力的です。

森下 共同研究室の向かいに先生たちの研究室があって、先生たちも立ち寄られるし、聞きたいことがあったら研究室に行ってもすぐに質問できる環境はありがたいですよ。

新熊 先生もそうですけど、先輩・後輩がおなじ場所で勉強してるんで、いろんな情報が交換できるのがいい、おなじ分野の授業をとってる先輩のやってることをみることができるし。

井上裕貴（4年） そう、それ、大っきいよな。情報ライブラリーとか他の学部・学科の人とかいて気をつかうけど、共同研究室やったらやってることみんな一緒やし、気心しれてるし。

西口 ひとつの目的をもってみんな集まってくるから、うまくいく。

森下 家でひとりやってたら行き詰まることもあるけど、集まってやっていると作業がはかどるし。

井上 みんなで集まってやるの、大事よな。友だちがいなかったら、いまの僕はなかった（笑）。教職最後まで続けたのもそのおかげ。みんながいなかったら、途中でやめてたかも。

——教職といえば、みんな志望してたよね。

井上 3年の1月まではみんなと一緒に**教員採用試験の対策**をしてたけど、このさき何十年もやりたくなって考えて。教員は自分に向いてると思うけど、やりたいことは車に関係することになって。そこから就活ははじめた。（※京都トヨペットに内定）

冢瀬怜奈（3年） でもトヨタで仕事してからでも、免許持ったらまたチャレンジできるじゃないですか。



輪 講



ス ポー ツ
大 会



森下 僕は教職だけにしぼってた。（※私立高等学校に内定）

山下 就活も、って考えた時期もあるけど、結局、教職に戻った。（※公立中学校に内定）

新熊 私らも支えあってやろうな、みんなで。

山下 じゃあ、それはもう、共同研究室へ行かないと（笑）。

西口 いまみたいに、みんなで話しをしてまとめるみたいなことって教員採用試験の**集団討論**に似てるような気がするんですけど、どうやって話しをまとめるんですか。

山下 まったく違うことと言われても、そういう考え方もありますよねって同意して、でもこういう考え方もありますよねって話題を戻していく感じかな。

森下 そうしたらみんなあとからの話題に注目してくれるから。

山下 沈黙する時間はグループ単位で減点されるし。

井上 就活でいうところのグループディスカッションかな。

山下 奈良県は自分で仕切ってしまうのも減点で、役割分担を決めずに、協調性をみせながら進めていくのがポイント。

井上 逆に、就活では司会、書記、タイマーを決めて、進めていく。最終は結論をまとめないといけないから。

森下 教職の場合、結論はださなくてもよくて、時間で止める。ただ、その傾向は自治体によるけどね。

——いい感じで話しが進んでるけど、違う学年との「壁」ってある？

井上 コロナ禍の影響で、ファーストタッチがうまくいかなかったから。**学科会***活動もまったくできなかった。そもそもそんな組織があると知ったのが1年上の会長が引退するときで。入学式も、学祭も、何もなかったから。学年全員が揃って顔をあわせたのが9月だった。

冢瀬 上代の演習は上の先輩が授業に参加してくれて、発表の方法とか教えてくれたので、「壁」がなくなった感じです。



大 学 祭



西口 母が天大の出身で、人と人のつながりが強いというか、いまでもつながってるのをみていたので、入学当初にそれが味わえなかった。

新熊 そういう意味で、学科会の復活は大きいですね。下の学年とのつながりはかなりできました。いまでも学年関係なく、お昼ご飯とか一緒に食べてます。これからどんどん、活発になっていくと思います。

井上・森下 それを聞いたら、もう1回、入学したくなるよな。——**輪講*(自主ゼミ)**を動かすと、さらに「壁」はなくなるよ。

森下 上代の演習は国語学の演習と合同で現地踏査とか行って、学年も分野も超えて交流してるよね。実質、輪講に近い感じ。

新熊 教職志望者の輪講とか、このまま続けてほしいかも。ICTとか、情報共有が大事だと思うから。

中村恵理（3年） 教職の場合、資料をみせてもらったり、実習の小テストのデータとか共有してもらったりできるから、とっても参考になります。

井上・森下・山下 とにかく、共同研究室へ行けば「壁」はなくなる！

* 学科会：学科行事や学祭等のイベントの企画・運営をおこなう学生主体の活動。
* 輪講：講義以外で、時代やテーマにわかれておこなう学生主体の課外活動。



共 同
研 究 室





——それぞれ卒業年と教員としての所属を教えてください。

玉井 絢 2014年卒業で、奈良県の中学の教員です。

鍛冶屋美樹 2015年卒業で、大阪府の高校の教員です。

畠山真稀 2016年卒業予定（座談会当時は在学中）です。大阪府の高校です。

——みなさん、**教職課程**は大学に入った時点で考えていた？

玉井・鍛冶屋・畠山 考えていました。

玉井 教職がとれるから天理大学を選びました。

鍛冶屋 国語では天理が強いから、天理は教職とるのがいいよ、と聞いて天大にきました。

——実際、先生になってみてどう？ 在学中の畠山さん以外はもう現場に出ているけど。

玉井 しあわせ。生徒とふれあうのがたのしいです。

——でも夜遅くまで授業の準備とかするんでしょう？ それは大変じゃないの？

玉井 大変は大変だし、そうやってがんばって作った授業が翌日うまくいかなかったら、すごくへこむけど、周りの先生たちが声をかけてくれたりするから、力がでる。

——この仕事はおススメだよって見える？

玉井 担当している生徒たちの卒業式に、こんなに達成感があってしあわせを感じられる日はないと、もう一生教師でいたいと思いました。その時にたまたま天大の学生がディアティーチャープログラム（奈良県主催の教師養成塾）で来ていたのだけど、その子もぜったい教師になるって言って、その後の採用試験に受かっていました。やっぱり現場の魅力は大きいです。

鍛冶屋 私も、最初どれだけ話しても伝わらないと思う生徒がいたのだけど、それでも一年たったら「この子、言い方変わってきたな」と感じるようになって、それから「心通じた！」という瞬間があって、一生教師をやっていこうと思いました。

玉井 中学校も高校もたった3年やけど、めっちゃ貴重な3年だと思うんです。その3年に関われる仕事ってすごいことだと思います。



——天理大学では、**教育実習**の時に、教員が実習校にご挨拶にいったって学生の授業を見せてもらうのだけど、玉井さんの授業では、教室の隅から隅まで自分の方向に引き込んでいるなと思いました。だから後で「教師にむいているね」と言ったよね。

玉井 先生からそんな言われたら、絶対教師になるでしょう（笑）。うれしかったですよ〜。

鍛冶屋 私の時は、N先生が来てくれはりました。実習校に天理大学出身の先生がいっては、「N先生やんなあ。20年前と変わらへん」って感動してはって……。

一同（笑）

玉井 実習の経験は大きかったです。実習最後の日に生徒が歌を歌ってくれて、色紙もらって、私、感動してめっちゃ泣いて、教師になろうと思いました。

——そこから、実際に**採用試験**に合格するまでは大変だったと思うけれど、気持ち折れそうになったりしなかった？

鍛冶屋 私の場合は、10年ぐらい前に天大を卒業して高校の先生してはる方からいろいろ教えてもらいました。

——その先輩とはどうやって知り合ったの？

鍛冶屋 国文学会の時とか、研究室に遊びにきてくださった時とかに教員になりたいという話をして、それからエントリーシートをみてもらったり、**模擬面接**や**模擬授業**をみてもらったり……。

畠山 私もみてもらいました。

鍛冶屋 その先生が「他にも教員希望の後輩がいるなら相談に乗るけど」って言ってくれはって、それで真稀ちゃんも一緒に。

——ずっと下の後輩にそこまでしてくださったのは、やさしいね。

鍛冶屋 他にも、天大卒の中学・高校の先生には本当によく指導してもらっています。

畠山 卒業生の方のお話といえば、大学の「**国語教員を目指す学生のための勉強会**」で、国文の卒業生で現役の中学・高校の先生をしてはる方のお話を聞いたのは大きかったです。今の学校現場での問題とか、実際どういう授業をするのかとか。

——ほかにも天大国文には採用試験対策のいろいろなプログラムがあるよね。

畠山 私はほぼぜんぶに参加しました。**キャリア支援の教職講座**では、教員採用試験の過去問を配ってくださったり、模擬試験をしてくださったり、「大阪府だったらチャレンジテストあるよ」というような情報も教えてくださったり、面談も何度もしてくださって自分に何が足りないのかを知ることができました。キャリ



ア支援の授業は普通の授業料とは別に費用がかかりますが、外部の専門学校に行くよりは安くて、プラスになったと思います。

——**教職の共同研究室**にも行きましたか？

畠山 行きました。教職のU先生に面接練習や模擬授業をみてもらいました。

鍛冶屋 私も教職の共同研究室で面接練習をしてもらいました。あとグループ討論の練習もみてもらいました。

——それから**国文研究室**でも、対策講座や面接練習などやっていますが……。

鍛冶屋 私は両方出させてもらいましたが、なかなか厳しくて、特に面接練習なんかは、なんでこんないじわるな質問されなあかんのかなと思ったこともありましたが（笑）。でも終わったあとでおいしいコーヒー入れてくださって……あの味は覚えています。

畠山 私も両方受けました。あと私は個人的に先生方に相談に行きました。ももとは「畠山さんは控えめやから」と言われるほうなんですけど、そこはもう積極的に。採用試験の模擬授業の3日前になって不安になって、国語科指導法の授業でお世話になっていたN先生に「緊急です」ってメールを出して……。

玉井 「緊急です」って、N先生もびっくりしはったやろな。

一同（笑）



畠山 そうしたら夏休みだったのに、N先生が大学に来てくださって、丸一日、模擬授業を見てくださった。N先生のアドバイスで模擬授業の内容をぜんぶ作り直したんです。それにその前にも……、私は**学校推薦**をもらったので、採用試験の一次が免除だったのですが、そのための作文で悩みまして、国文の先生全員に相談にのってもらいました。

——ありましたね（笑）。

畠山 国文の先生全員にみてもらって、次の段階ではK先生になんども見てもらいました。同じように学校推薦を受けた先輩が、K先生に作文みてもらって合格したって聞いたから、もう、研究室を掃除してはるところまで、「今いいですか」って呼び止めて添削してもらって……。

玉井 掃除してはるところまで！？

——そういう積極性は必要だよな。

畠山 学校推薦もいただいて、先生方にもよくしてもらって、なのに自分の実力が追いつかなくて悩んだ時期もありました。でも、そういう時は教育実習で生徒にもらった色紙をみて気持ちを立て直しました。

玉井 生徒たちのことを思うとがんばれるよね。

——やっぱり生徒が力になるんだね。みんなが生徒から大事なものを受け取っているのが伝わりました。今日はどうもありがとうございました。

国語教員を目指す学生のための勉強会

高校教員による模擬授業



現任教員から授業進行のテクニックを学ぶ



教育実習報告会

教育実習の体験談を後輩たちに伝える



現任教員との交流会

質疑応答の様子



天理大学 〒632-8510 奈良県天理市杣之内町 1050

国文学国語学科共同研究室

☎ 0743-63-9037

<https://www.tenri-u.ac.jp/lt/jpl/>

天理大学入学課

☎ 0743-62-2164

<https://www.tenri-u.ac.jp/>